

令和4年度  
地方公共団体における  
食品ロス削減の取組について  
〈事例紹介〉

消費者庁消費者教育推進課  
食品ロス削減推進室

## 〔住民・消費者への啓発〕

### 食品ロスゼロチャレンジ事業で住民への食品ロス削減の啓発（愛媛県）

愛媛県では、県内の「家庭系食品ロス」をより一層削減するための普及啓発として、「食品ロスゼロチャレンジ事業」を実施。

#### 実施内容

家庭から出た1週間の食品ロスの種類や量を記録してもらうことで、「家庭系食品ロス」について考えてもらい、各家庭の中で「食品ロスゼロ」を目指す。家庭から出た1週間分の食品ロスを「食品ロスゼロシート」に記録し、写真を撮って応募すると、抽選でオリジナル保冷バッグが当たる。

#### 実施期間

2022年10月1日～同年12月31日

〈食品ロス削減シート〉



《愛媛県HP》

<https://www.pref.ehime.jp/h15700/foodloss/zero-challenge.html>

### 京の食品ロスゼロ検定の実施（京都市）

京都市は、10月の食品ロス削減月間中、食品ロスの現状や食品ロス削減に役立つ行動についてクイズ形式で学ぶ「京の食品ロスゼロ検定」の特設サイトを開設。

検定問題は、若者の視点を生かして食品ロス削減を発信するため地元の大学と連携して作成。

〈京の食品ロスゼロ検定特設サイト イメージ〉



全11問  
全問正解して応募すると抽選でギフトカードがもらえる

〈大学生の活動の様子〉



《京都市HP》

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyoku/page/0000304199.html>

### 地元の高校生と連携した啓発動画の作成・公表（兵庫県姫路市）

兵庫県姫路市では、市内の高等学校の協力を得て日常の中に潜む食品ロス問題を考え、行動を起こす学生の様子をドラマ風啓発動画を作成、啓発を実施。

〈姫路の高校生によるもったいない系青春劇場「Let's 削減! "食品ロス"」～私たちにもできることがあるんだ～〉



「賞味期限と消費期限の違い」、「てまえどり」、「フードドライブ」など、高校生活の中での考え、行動できることを紹介している。

《兵庫県姫路市HP》

<https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000023033.html>

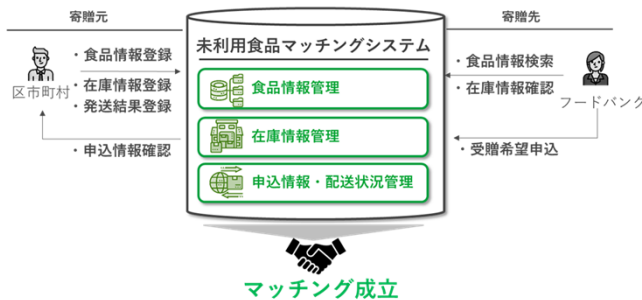
## 〔災害用備蓄食品の有効活用〕

### 防災備蓄食品を含む未利用食品マッチングシステムの活用（東京都）

東京都は、都下の区市町村や都の防災備蓄食品とフードバンクをマッチングするシステムを、2021年2月に構築、同年4月から本格運用開始。

- 区市町村は24自治体がユーザー登録、フードバンク等は14団体が登録（農林水産省HPに掲載されている都内のフードバンク数は21団体（2023年4月1日現在））
- 食品情報の登録、閲覧、申込を本システム上で一括して行うことが可能

#### 〈未利用食品マッチングシステム〉



年度	マッチング件数	マッチング食数	寄贈先登録者数		寄贈元登録者数※1	
			区部	多摩	区部	多摩
令和2年度	5	19,150	5	7	10	10
令和3年度	30	25,590	0	0	2	1
令和4年度	46	57,600	2	0	1	0
計	81	102,340	7	7	13	11

《東京都HP》

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/basic/conference/resource/cat.files/13torikumai.pdf>

### 令和4年度の備蓄食料の無償配布（横浜市）

横浜市では、地域防災拠点で備蓄している食料を更新する際は、横浜市の備蓄食料の周知や家庭内備蓄の促進などの防災意識の啓発や食品ロス削減の観点から、賞味期限内の備蓄食料は、地域防災拠点での活用や法人・団体への無償配布などを実施。賞味期限が切れた備蓄食料は、資源化（肥料化・飼料化）。

#### 〈有効活用した備蓄食品例〉

配布食料	数量	備考	参考写真（外箱）	参考写真（内側）
保存パン	2,000箱（40,000食）程度	・1箱当たりの食数：20食 ・賞味期限：2023年1月 ・1箱あたりの梱包の大きさ：32cm×40cm×12cm/約2kg		
水缶	5,500箱（132,000本）程度	・1箱当たりの本数：24本 ・賞味期限：2023年8月 ・1箱あたりの梱包の大きさ：27cm×40cm×13cm/約8kg		
おかゆ	1,350箱（27,000食）程度	・1箱当たりの食数：20食 ・賞味期限：2023年1月 ・1箱あたりの梱包の大きさ：32cm×40cm×12cm/約5kg		
クラッカー	550箱（38,500食）程度	・1箱当たりの食数：70食 ・賞味期限：2023年1月または2月 ・1箱あたりの梱包の大きさ：26cm×50cm×37cm/約7kg		
ビスケット	350箱（35,000食）程度	・1箱当たりの食数：100食 ・賞味期限：2023年8月 ・1箱あたりの梱包の大きさ：24cm×39cm×28cm/約5kg		

《横浜市HP》

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/wagaya/jishin/bichikuhin/yukoukatuyo.html>

### 食品ロス削減イベントでの備蓄食品の有効活用（岐阜県各務原市）

岐阜県各務原市では、10月に開催した「食品ロス削減イベント2022」で、同市内防災倉庫で備蓄している防災備蓄食のうち、入れ替えて役割を終えたものを無料で配布（2会場限定、各1000食）。

そのほか、消費者庁食品ロス削減推進サポーターに認定された学生らによる食相談会の実施や配布する防災食を使ったリメイクレシピ紹介なども実施。

#### 〈食品ロス削減イベントの案内チラシ〉

《岐阜県各務原市HP》

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/event/1005356/1010019/1005390/1015734/1015930.html>

## 【フードバンク活動との連携等】

### 事業系食品ロス削減マッチングサービスの開始（岡山県）

岡山県では、事業系の食品ロスの効果的な削減を推進するため、未利用食品を提供したい事業者と提供を受けたいフードバンクをタイムリーに繋ぐことができるマッチングサービス（おかやまフードトリップ）の提供を開始。

#### おかやまフードトリップを利用できる方

##### 【食品提供者】

事業活動で発生した未利用食品（災害備蓄食品を含む）を無償で提供する企業・団体（県外の事業者の方も利用可能）

##### 【フードバンク】

県内に活動拠点を有し、6か月以上の活動実績があるフードバンク



※パソコンまたはスマートフォンのアプリ「Foodeal(フーディール)」に登録すると、「おかやまフードトリップ」に参加することができる。

《岡山県HP》





<https://www.pref.okayama.jp/page/841145.html>

### 市内各地でフードドライブ促進のため活動物品の貸出（横浜市）

横浜市では、フードドライブが進むよう、同市内の各自治会、町内会、商店街、企業などの取組や地域のイベント、学校行事、会社で働く社員や買い物に来るお客様に向けてなど様々な場面で、フードドライブ活動のための物品を貸出。

また、フードドライブの実施方法や、実際に実施している施設なども、同市ホームページで紹介。

#### 〈貸出物品〉

貸出物品			
<b>食品回収ボックス</b> (折り畳み式) 幅 53cm × 奥行 36cm × 高さ 28cm  (最大3台)	<b>のぼり旗 (ポール無)</b> 縦 180cm × 横 45cm  (最大3枚)	<b>のぼり旗 (卓上型)</b> 縦 37.5cm × 横 12.3cm  (最大3個)	<b>表示板データ</b>  (イメージ) A3サイズ (要・不要)

#### 〈フードドライブ実施の様子〉



《横浜市HP》

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/sakugen/20190319133236879.html#D0DB6>

### 地元のフードバンクと連携協定（千葉県船橋市）

千葉県船橋市では、令和4年12月13日に特定非営利活動法人フードバンクふなばしと連携協力に関する協定を締結。

2者は、「ひとり親家庭を対象とした食品支援会（パントリーピックアップ）での相談受付」や、未使用食品の寄贈を受ける「フードドライブ」などさまざまな面で連携協力を図りながら、生活に困窮している家庭への支援を実施してきた。

今回の協定を機に、より連携を深め、「フードバンク事業」や「食品ロス対策」のさらなる周知啓発と推進、生活困窮者への安定的な食料支援を目指す。

#### 〈協定式の様子〉



《千葉県船橋市HP》

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/chiiki/005/p111765.html>

## 〔子どもへの啓発・教育〕

### 紙芝居やダンスを通じて、幼児へ食品ロス削減を呼びかけ（岩手県）

岩手県では、岩手県3R推進キャラクター「エコロル」が県内の保育施設等に出向き、食品ロスの削減に関する紙芝居やダンスを通じて3Rについて楽しく学ぶ訪問活動を実施。

訪問活動では、リデュース（ごみの発生抑制）の取組の一つとして、食べ物の大切さや好き嫌いをしないで食べること、食べ残しをしないことについて園児に向けて呼びかけを実施。

〈保育園訪問の様子〉



〈エコロルを起用した食品ロス削減のアイコン〉



子どもだけでなく、大人にも一目で分かりやすい表現

《岩手県HP》

[https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/kankyo\\_u/seisaku/recycle/1005658.html](https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/kankyo_u/seisaku/recycle/1005658.html)

### こどもモッタイナイ大作戦事業の実施（浜松市）

浜松市は、小学生が夏休み期間中に「食事の食べきり」などを体験することで、食品ロス等への理解を深め、ごみを減らし、環境にやさしい暮らしを学ぶ事業を実施。

本事業は、毎年度実施しており、令和4年度の参加児童数は約17,000名。児童の食品ロス削減、環境への意識向上を図った。

〈当該事業で児童へ配付した資料〉



2週間食べきりを記録するチェックシートなどが付いている

《浜松市HP》

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gomigen/gomi/genryou/tennatoridaisakusenn.html>

### 児童向け冊子の作成（静岡県藤枝市）

静岡県藤枝市では、SDGsのターゲットとしても取り上げられた国際的な課題である「食品ロス問題」について、小学4年生の児童向けにイラストを用いたり、身近な例示などを取り入れたりすることで、わかりやすく学ぶことを目的とした冊子を作成。

大人でも楽しく学べる内容

〈冊子の表紙と一部内容〉



《静岡県藤枝市HP》

<https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/toshi/kankyo/TO001/18548.html>

# 〔飲食店等での啓発促進〕

## カレンダーを活用した飲食店での啓発（長崎県）

長崎県は、食品ロスの削減に取り組む飲食店や小売店等を九州食べきり協力店として登録し、県内の小中学生を対象に「食品ロス削減ポスターコンテスト」の受賞作品を活用した啓発資材（カレンダー）を配布。

〈食品ロス削減啓発カレンダー（10月）〉



《長崎県HP》

[https://kankyokatsudo.pref.nagasaki.jp/eco\\_healthy/topPage.php](https://kankyokatsudo.pref.nagasaki.jp/eco_healthy/topPage.php)

## 外国人向け多言語メッセージカードの配布（大阪市）

大阪市では、外国人向けに食品ロス削減を啓発するため、多言語メッセージカードを作成し、観光案内所等で配布。

〈外国人向け多言語メッセージカード（日本語、英語、中国語、韓国語）〉



《大阪市 環境局事業部一般廃棄物指導課》

## 新宿区食品ロス削減協力店ガイドブックの公表（東京都新宿区）

東京都新宿区では、平成30年度から食品ロス削減協力店登録制度を実施。以下の取組1項目以上を実施する事業者は、本制度に登録が可能。令和5年3月1現在で、66店舗が登録。また、「新宿区食品ロス削減協力店ガイドブック」を作成し、食品ロス削減に積極的に取り組む事業者と、その取組を掲載。消費者向けに当該店舗の積極的な利用をいただくよう紹介。

〈食品ロス削減協力店登録制度の登録要件（いずれか1項目以上）〉

〔食品ロス削減協力店の取組内容〕

	ハーフサイズや小盛メニューの導入、ごはんや麺の量の調整		食品リサイクルの実施
	ばら売りや量り売り、少量パック等による食料品販売		過剰在庫・規格外商品等のフードバンクへの寄付、フードシェアリング等
	賞味・消費期限間近な食料品や閉店時間際の割引販売		ポスターや卓上ポップ等でのPR、店舗HP等での啓発
	持ち帰りを希望するお客様への積極的な対応*		その他食品ロスを削減するための取組

一目で分かりやすい

〈新宿区食品ロス削減協力店ガイドブック〉



《東京都新宿区HP》

[https://www.city.shinjuku.lg.jp/kankyo/gomi01\\_002039.html](https://www.city.shinjuku.lg.jp/kankyo/gomi01_002039.html)

## 〔飲食店での啓発促進の状況〕

食べ残しを減らす取組を実施している飲食店の店舗数を把握している地方公共団体は206、店舗数の合計は19,210。  
食品ロスを減らす取組を実施している小売店の店舗数を把握している地方公共団体は110、店舗数の合計は10,514。

食べ残しを減らす取組を実施している飲食店の店舗数を  
把握している地方公共団体の数及び店舗数

飲食店舗	店舗数を把握している地方公共団体の数	飲食店舗数
令和4年度	206	19,210
令和3年度	195	22,586
令和2年度	182	21,364
令和元年度	161	17,139
平成30年度	149	13,650
平成29年度	89	9,914

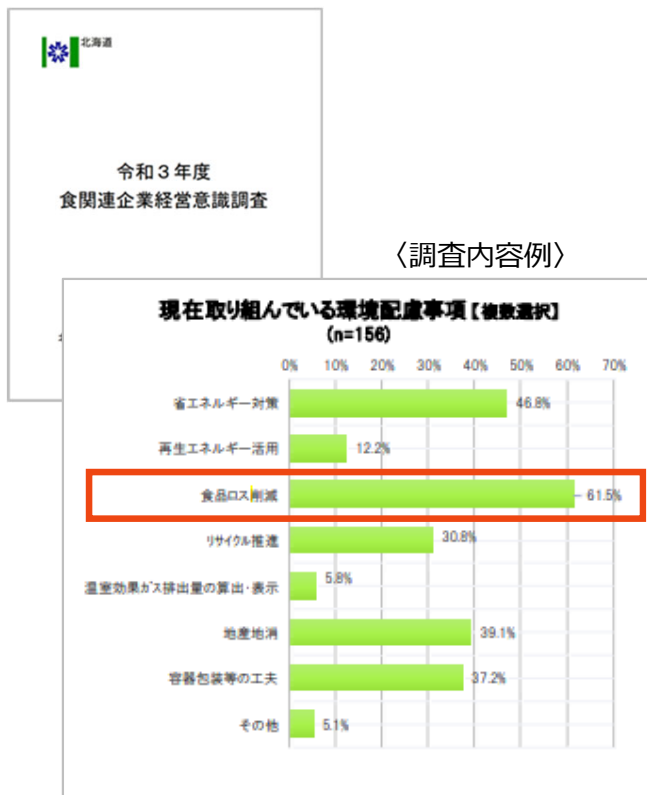
食品ロスを減らす取組を実施している小売店の店舗数を  
把握している地方公共団体の数及び店舗数

小売店舗	店舗数を把握している地方公共団体の数	店舗数
令和4年度	110	10,514
令和3年度	94	10,320

## 〔食品ロスの実態把握〕

### 食品製造業における食品ロス削減や省エネ等の取組状況調査（北海道）

北海道では、道内の食関連企業を取り巻く環境、経営状況などについて把握し、道内食関連産業の振興施策等の効果的な展開に資する目的として、食品製造業における「食品ロス削減」や「省エネ・新エネ」の取組状況を調査し、公表。



《北海道HP》

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/2/4/5/1/7/9/\\_/02\\_R3\\_SS\\_Keieishiki\\_Honpen.pdf](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/2/4/5/1/7/9/_/02_R3_SS_Keieishiki_Honpen.pdf)

### アプリを活用した家庭での食品ロスの状況調査（福岡市）

福岡市では、同市居住201名のモニターに協力いただき、10月1日から31日までの1か月間、家庭での食品ロスの状況を調査。

調査手法は、神戸市と「NPO法人ごみじゃぱん食品ロスチーム」が開発した無料アプリ、「食品ロスダイアリー」を活用。

〈調査用アプリ「食品ロスダイアリー」〉



1か月間 1世帯あたりの食品ロス排出量は、件数で約10件、重量で0.7kg、金額換算で578円という結果。

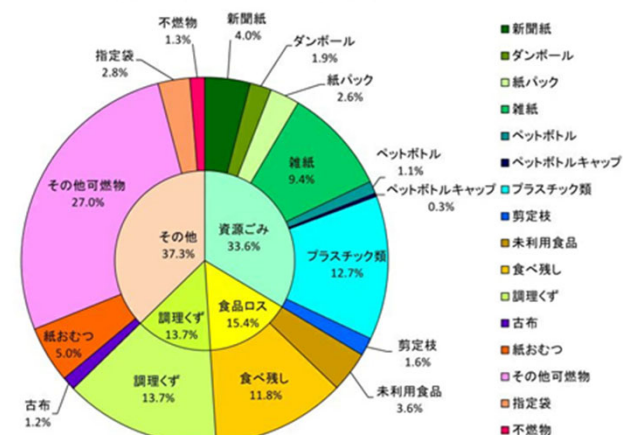
《福岡市HP》

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigom/j/opinion/foodlossdiary.html>

### 組成調査による食品ロス等の実態把握（福岡県筑後市）

福岡県筑後市では、家庭からごみ集積場所に排出された可燃ごみを無作為に抽出し、燃やすごみのなかに、リサイクルできる資源物などの程度混入しているか分析し、今後のごみ減量のヒントを研究するための調査を実施。

〈令和4年度組成分析の調査結果と調査の様子〉



紙類が多かったのが、お菓子の空き箱やチラシ  
腐プラスチックが多かったのが、カップ麺の容器やお菓子の袋  
生ごみが多かったのが、食べ残しや使い切れずに傷んでしまった食材  
もつとごみ減量できなかな～？？



食品ロスの割合は、全体の15.4%  
(未利用食品および食べ残し)

《福岡県筑後市HP》

<https://www.city.chikugo.lg.jp/shimin/6059/26484/29472.html?media=pc>



## 〔食品関係事業者との連携〕

### 小売店における消費者向け 食品ロス削減の実証事業（大阪府）

大阪府は、令和4年度に、包括連携協定を締結している地元の小売事業者の協力を得て、店舗従業員と、食品ロスについて学ぶ管理栄養士養成大学などの大学生と一緒に考えた食品ロス削減手法を用いた実証実験等を実施。

〈大学生とのワークショップなどで出たアイデアを元に、店舗の従業員や幅広い関係者と共に検討〉



〈大学生にアイデアを募り、保存の工夫や調理レシピのPOPを作成し、売り場や食品ロス予備軍を集めたコーナーに掲示〉



《大阪府HP 小売店舗における食品ロス削減の取組みについて》

<https://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/foodloss/kourizissyuu-kekka.html>

### 堺・ごみ減量 4R 大作戦！食品ロス削減 に向けた連携協定を締結（堺市）

堺市では、同市全体でごみ減量に集中的に取り組むプロジェクト「堺・ごみ減量4R大作戦」の一環として、フードシェアリングサービス「TABETE」を運営する株式会社コークッキングと相互の資源を活かし、飲食店等の食品ロスの削減及び市民意識の向上を目的として連携協定を締結。

この協定により、食品事業者の食品ロス削減だけでなく、市民の行動変容を促進することを目指す。

〈協力事項〉

- (1) 堺市が実施する食品ロス削減の推進に関する取組の認知度向上に向けた取組
- (2) 市内事業者及び市民に向けた本連携事業に関する広報及び普及啓発
- (3) 堺市食べきり協力店及びエコショップの登録促進及び認知度向上に係る取組
- (4) フードシェアリングサービス「TABETE」を活用する市内飲食店の増加に向けた取組
- (5) 前4号に掲げるもののほか、両者間で協議して定める事項

〈協定式の様子〉

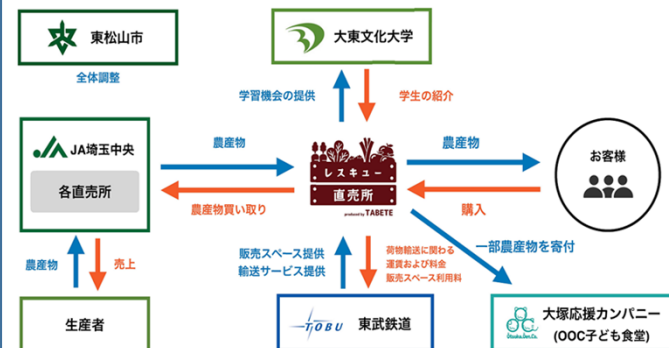


《堺市HP》

[https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo\\_r5/teikyoshiro\\_r501/050118\\_04.files/0118\\_04.pdf](https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo_r5/teikyoshiro_r501/050118_04.files/0118_04.pdf)

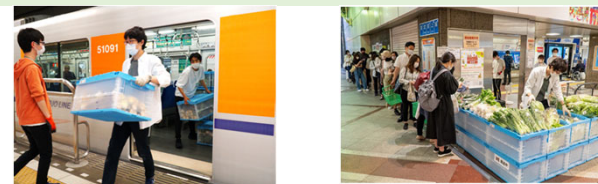
### 事業者・大学と連携し余った農産物の 有効活用（埼玉県東松山市）

埼玉県東松山市では、様々な事業者・大学と連携し、同市周辺のJA農産物直売所で売れ残った新鮮な農産物を、連携の鉄道会社の列車で都心の池袋駅に輸送。「TABETEレスキュー直売所」を駅構内に設置し、仕事終わりの通勤客等に再販売、また、一部の農産物は子ども食堂へ無償提供することで、食品ロス削減の取組の体制を実現。



### 地域活性化・食品ロス削減の同時実現

本事業における食品ロス削減量の累積 **43.1トン**  
(2021年3月の実証実験から、2023年4月末日現在)



〈池袋駅ホーム（東京都）〉 〈池袋駅改札付近

《埼玉県東松山市HP》

[http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/business\\_sangyo/norin/agricultural\\_support/1629078441655.html](http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/business_sangyo/norin/agricultural_support/1629078441655.html)

## 【その他】

### 佐賀県食品表示責任者制度の事業者へ情報共有（佐賀県）

佐賀県では、佐賀県食品表示責任者制度に登録している食品関連事業者に対し、ニュースレターで、食品ロス削減の観点から、安全性に係る事項以外で誤表記があった場合、廃棄せずにポップシール又はネックリンガーにより簡便に修正する方法などを周知啓発。

〈食品表示ニュースレター令和4年10月号 抜粋〉

#### 8. 県内事業者から相談の多い事例

#### ～誤った表示の修正方法について（食品表示基準Q&A）～

（加エ-274）容器包装の表示を誤った場合、誤った表示の上からシール等を貼り付けて訂正することは可能ですか。

表示を訂正するために誤った表示の上からシール等により適正な表示を貼付すること自体は差し支えありません。

しかしながら、消費者等に誤解を与えるおそれがあることも留意し、消費者等からの問合せにはきちんと対応する等、事業者として適切な対応をすることが重要です。なお、本来、誤った表示の上から適正な表示を貼付することにより明確に修正することが望ましいですが、令和3年3月17日から、食品ロスの削減を推進する観点から、適正な表示を記載したポップシール又はネックリンガーを容器包装の任意の場所に貼付又は配置することによる簡便な表示修正を認める運用を始めることとします。ただし、**当分の間、当該修正方法は、安全性に係る表示事項（※）についての修正には認められません。**本運用状況については、今後検証を行っていく考えです。また、消費者に誤認を与えない誤字、脱字等の表示ミスについては、食品ロスの削減を推進する観点から、安易に自主回収を行わないことが求められます。

※ 食品表示法第六条第八項に規定するアレルギー、消費期限、食品を安全に摂取するために加熱を要するかどうかの別その他の食品を摂取する際の安全性に重要な影響を及ぼす事項等を定める内閣府令（平成27年内閣府令第11号）第1条各号に掲げる事項を指します。

（加エ-275）ポップシール又はネックリンガーによる表示の修正を行うに当たっての具体的な留意点はありますか。

ポップシール又はネックリンガーによる修正を行う場合は、  
① ポップシール等が容易に容器包装と分離せず一体化がある

《佐賀県HP》

[https://www.pref.saga.lg.jp/kiji/00359921/3\\_5992\\_1\\_254959\\_up\\_gak1qz0s.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji/00359921/3_5992_1_254959_up_gak1qz0s.pdf)

### 広島市食品ロス削減推進条例の制定（広島市）

広島市では、食品ロスの削減に関し、同市及び事業者の責務並びに消費者の役割を明らかにするとともに、同市の施策の基本となる事項を定めることにより、食品ロスの削減に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって持続可能な社会の実現に寄与することを目的として、「広島市食品ロス削減推進条例」を広島市議会が主体となって制定。

〈「広島市食品ロス削減推進条例」の概要イメージ〉

#### 広島市食品ロス削減推進条例の概要

- 1 目的  
食品ロスの削減に関する法律（令和元年法律第19号）の趣旨にのっとり、食品ロスの削減に関し、本市及び事業者の責務並びに消費者の役割を明らかにするとともに、本市の施策の基本となる事項を定めることにより、食品ロスの削減に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって持続可能な社会の実現に寄与する。
- 2 施行日  
令和5年4月1日
- 3 概要  
(1) 本市の責務  
国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、本市の特性に応じた施策を策定し、実施する。（第3条）  
〈具体的な内容〉
  - ・環境、消費生活、保健、福祉、産業振興、教育等の関係部局と連携の上、食品ロス削減推進計画を策定する。（第7条1～5）  
〔※ ただし、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に位置付けられた現行の食品ロス削減推進計画を、この条例で求められている食品ロス削減推進計画とみなす。（附則2）〕
  - ・毎年、食品ロス削減推進計画に基づく施策の実施状況を、広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会及び市議会に報告・公表する。（第7条6）
  - ・消費者、事業者及び学生等に対し、食品ロスの削減に関する普及啓発を行う。（第8条）
  - ・食品関連事業者や農林漁業者等が実施する食品ロスに関する取組を支援する。（第9条）
  - ・食品ロスの削減に関し顕著な功績があると認められる者に対し、表彰を行う。（第10条）
  - ・食品ロスの実態に関する調査と、その効果的な削減方法等に関する調査・研究を行う。（第11条）
  - ・未利用食品等を提供するための活動（フードバンクやフードドライブ活動）の支援等を行う。（第12条）
  - ・食品廃棄物の再生利用が促進されるよう、施策を策定・実施する。（第13条）
  - ・食品ロスの削減に関する施策を総合的・計画的に推進するため、関係部局相互の連携を図るための体制を整備（第14条）し、必要な財政上の措置を講ずる（第15条）

《広島市HP 議員提出第10号議案 広島市食品ロス削減推進条例の制定について》

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/gikai/332304.html>

### 食品ロス削減全国大会の開催（さいたま市）

さいたま市では、食品ロス削減プロジェクトに取り組んで5周年。これからも「もっと！もったいないを、モットーに。」を合言葉に、笑って食卓を囲み、楽しくおいしく食品ロスを減らしていきましょう。と食品ロス削減全国大会を開催。

〈食品ロス削減全国大会ポスター〉



プログラム

- (1) オープニングパフォーマンス
- (2) 開会
- (3) 食品ロス削減推進表彰 表彰式
- (4) トークショー「料理で削減！食品ロス！」
- (5) 食品ロス削減クイズ大会
- (6) 閉会の挨拶

《さいたま市HP 第6回食品ロス削減全国大会 inさいたま》を開催しました!》

<https://www.city.saitama.jp/001/006/012/001/p093487.html>

## 【その他2】

### 食品ロス削減のための商慣習見直し事例による事業者啓発（富山県）

富山県では、商慣習の見直しを促進するため、納品期限の緩和や過剰在庫の解消等に取り組む県内外の事業者と協力いただき、事例集を作成、公表。

また、商慣習見直しが進むよう事業者向け研修会を実施。

〈富山県作成 商慣習見直し事例集〉



《富山県HP》

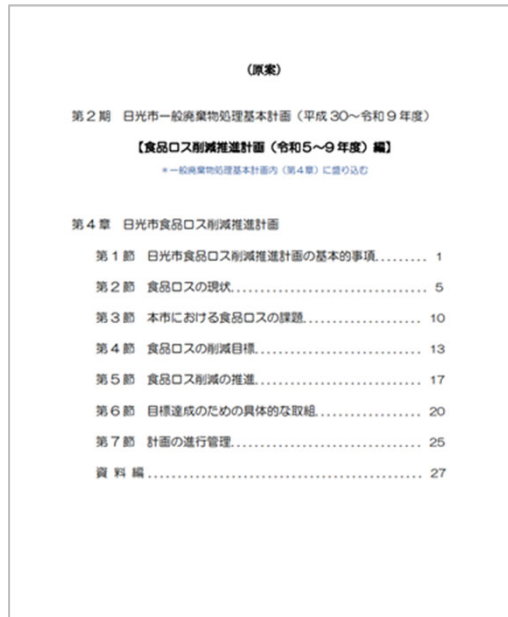
<https://foodlosszero.jp/column/1552>

### 食品ロス削減推進計画の策定における大学との共同研究（栃木県日光市）

栃木県日光市では、日光市食品ロス削減推進計画の策定にあたり、宇都宮大学との共同研究事業により、現状把握や課題の分析・整理、地域特性に応じた効果的な施策の検討等を実施。

令和4年4月～9月 各分野（庁内各課）の担当レベルでの会議（調整等）随時実施  
（内容）各分野における既存事業や課題等を抽出、計画掲載内容の方向性を検討。

〈【食品ロス削減推進計画（令和5～9年度）編】  
\*一般廃棄物処理基本計画内（第4章）に盛り込む〉



《栃木県日光市HP》

<https://www.city.nikko.lg.jp/hisho/qyousei/shisei/pub-comment/documents/syokuhinrosusakugen.pdf>

### 廃棄予定の災害備蓄食料の寄贈（栃木県下野市）

栃木県下野市では、食品ロス削減や生活困窮者支援等の観点から、市が保有する期限切れの近い災害用備蓄食料を、フードバンク団体等へ提供。令和4年度は、年度中に廃棄予定の災害備蓄食料を、『下野市社会福祉協議会』および『ドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎ』へ寄贈。



ドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎ寄贈物品

品目	数量
クラッカー	350食
白がゆ	50食
梅がゆ	187食
中華ご飯	250食
カレーごはん	200食
備蓄水(2L)	120本
食料計	1,037食
飲料計	120本



《栃木県下野市HP》

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/0361/info-000007810-3.html>

下野市社会福祉協議会寄贈物品

品目	数量
クラッカー	280食
きのこごはん	150食
中華ごはん	100食
カレーごはん	100食
備蓄水(2L)	480本
食料計	630食
飲料計	480本